

信州大学医学部附属病院 循環器内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年4月2日

「石灰化を伴う浅大腿動脈病変に対する編み込み型ナイチノールステントを用いた  
血管内治療の実態調査」に関する臨床研究を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行  
っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」  
の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4331														
研究課題名	石灰化を伴う浅大腿動脈病変に対する編み込み型ナイチノールステントを用いた血管内治療の実態調査														
所属(診療科等)	循環器内科														
研究責任者(職名)	加藤太門 (助教)														
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年1月31日														
研究の意義、目的	石灰化を有する浅大腿動脈の臨床成績を明らかにします。														
対象となる患者さん	2019年1月7日から2020年7月31日の期間に当院で閉塞性動脈硬化症について血管内治療を受けられた方														
利用するカルテ情報 ／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など														
他機関への情報の提供方法	電子的配信により提供します。														
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、ステント再狭窄と各種診療記録との関係性の有無について検討します。														
共同研究機関名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">岸和田徳洲会病院</td> <td style="width: 50%;">藤原昌彦</td> </tr> <tr> <td>関西労災病院</td> <td>岡本 慎</td> </tr> <tr> <td>小倉記念病院</td> <td>鱸居祐輔</td> </tr> <tr> <td>東邦大橋医療センター</td> <td>宇都宮誠</td> </tr> <tr> <td>済生会中津病院</td> <td>上月 周</td> </tr> <tr> <td>坂総合病院</td> <td>佐々木伸也</td> </tr> <tr> <td>京都第二赤十字病院</td> <td>椿本恵則</td> </tr> </table>	岸和田徳洲会病院	藤原昌彦	関西労災病院	岡本 慎	小倉記念病院	鱸居祐輔	東邦大橋医療センター	宇都宮誠	済生会中津病院	上月 周	坂総合病院	佐々木伸也	京都第二赤十字病院	椿本恵則
岸和田徳洲会病院	藤原昌彦														
関西労災病院	岡本 慎														
小倉記念病院	鱸居祐輔														
東邦大橋医療センター	宇都宮誠														
済生会中津病院	上月 周														
坂総合病院	佐々木伸也														
京都第二赤十字病院	椿本恵則														

	札幌時計台記念病院	丹 通直
	森ノ宮病院	福永匡史
	長野市民病院	三浦 崇
	東京済生会中央病院	藤村直樹
	東京・ベイ浦安市川医療センター	仲間達也
	札幌血管クリニック	原口拓也
	心臓病センター榊原病院	吉岡 亮
	済生会東部横浜病院	毛利晋輔
	大阪府立急性期医療センター	岩崎祐介
	京都大学付属病院	田崎淳一
	市立函館病院	柴田 豪
	春日部中央総合病院	金子喜仁
	湘南鎌倉総合病院	飛田一樹
	大和成和病院	土井尻達紀
	松山赤十字病院	山岡輝年
	仙台厚生病院	堀江和紀
	近森病院	関 秀一
	近江八幡市立総合医療センター	山口信一郎
	済生会福岡総合病院	末松延裕
	いわき市立岩城協立病院	山本義人
	下関市立病院	辛島詠士
	兵庫医科大学病院	三木孝次郎
	船橋医療センター	岩田 曜
	板橋中央病院	尾崎俊介
	高津総合病院	山内靖隆
	奈良医科大学付属病院	市橋成夫

研究代表者	岸和田徳洲会病院 藤原昌彦
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 加藤太門 (信州大学 循環器内科 助教) 電話:0263 -37-3486

診療記録(カルテ情報)、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、データマネージャーである大阪大学大学院医学系研究科に提出します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。